



令和元年 11 月 20 日号

発行 高屋西地域センター

住所 〒739-2102 東広島市高屋町杵原 1316-1

TEL & FAX 082-434-0245

E-mail: takayanishi-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

開館時間 月～土 9:00～12:00

その他の時間は予約に応じての開館となりますので手続き等は上記の時間にお越しください。

高屋西地域センターの主催講座「菊作り入門講座」

丹精込めて育てられた菊が見事に咲き揃い、地域センターの玄関を彩っています。



主催講座のお知らせ

伸ばそう！健康寿命「介護保険について」

実際自分の家族に介護保険を利用しなければならなくなった時の実例をもとに、どうなったらどのように介護保険を使えばよいのか、ソーシャルワーカーの方にお話して頂きます。

◆日時 12/2(月)11:00～12:00

◆指導 西条中央病院ソーシャルワーカー 小平倫世さん

◆入場無料

◆申込不要 お気軽にご参加下さい



第29回東広島市生涯学習フェスティバルがありました

高屋西地域センターからは、雑俳句会とりハビリ手芸サロンの作品を展示しました。

また、高屋ブロックは、「くるみボタンのブローチとマグネット」の制作を体験して頂きました。



「ぼけますから、よろしくおねがいします」の映画上映会と

信友直子監督のミニトークがありました

監督のお話より

娘としてだけ接していたらつらいことも多かったですが、カメラを持って一步下がってみると、耳の遠いおじいさんとちょっとぼけたおばあさんがかみ合わない話をしよるといふ様子も、皆さんが映画を観て笑って下さったように、思わずほっこりしたり、ああかわいい年寄りじゃねと思えることもあります。どうしてこの人はこんな風になってしまうたんじゃろと介護で行き詰っておられる方も、ちょっと違う視点から見ると面白いことじゃねと思えたり笑えたりしますよ。

また、できんようになったことがあっても、できることの中で楽しんで笑顔で生きようと自分で心がけることが大切だと思います。

そう思えるようになったのは、映画になることをきっかけに、介護サービスを受けるようになって余裕ができたからです。それまでは父が拒否していたので、引きこもりの老夫婦でしたが、サービスを受けるようになってから社会に向かって広がっていきました。90代になっても人間関係はできるもので、ヘルパーさんがくるようになってからは父自身も余裕ができて見違えるように顔が明るくなりました。年寄りにとって社会参加というのは社会に甘えることありがたいとかわいいう年寄りになってあれも出来んのですけどお願いします、と甘えることだと思います。うまく介護の役割分担をして、いつまで介護が続いたとしても余裕を持ってお母さん好きよと思えるような介護体制を作る事が一番大切なのかなと思います。



高屋音楽フェスタ出演者募集

令和2年2月23日(日) 高屋西地域センターにて、高屋音楽フェスタの開催を予定しています。それに伴い、出演者を以下の要領で募集します。

- ◆主催 高屋西小学校区住民自治協議会
- ◆企画 高屋音楽フェスタ実行委員会
- ◆募集内容 ステージでの音楽の演奏とそれに付随するパフォーマンスを幅広く募集します。プロ・アマ・年齢・経験・ジャンルを問いません。
- ◆参加条件 音楽が好きなこと、聞くことも楽しめることそしてお互い温かく応援し合えること
- ◆出演参加料 お1人500円(ワンドリンク付)詳しくは御申込時にお尋ね下さい。
- ◆申込締切 12/26 午後五時まで
- ◆申込方法 高屋音楽フェスタ実行委員会 (岡本)080-5614-8214 Xexes4328@basil.ocn.ne.jp まで電話・メール 又はフェイスブック「高屋音楽フェスタ」で検索しコメントフォームから 又は高屋西地域センター窓口にて申込用紙に記入してお申込み下さい。

